

2021年7月16日

ミス・パリ・ビューティ専門学校 大宮校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会

ミス・パリ・ビューティ専門学校 大宮校

校長 島田 薫

学校法人ミスパリ学園 ミス・パリ ビューティ専門学校 大宮校 学校関係者評価委員会は、2020年度（令和2年度）自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しましたので、以下のとおり報告致します。

1. 開催日時：2021年6月29日（火） 10：00 ～ 12：00

2. 場 所：ミス・パリ・ビューティ専門学校 大宮校

3. 参加者

学校関係者評価委員

進藤 大	(株式会社 sline 取締役) (日本美容業生活衛生同業組合連合会 渋谷区副支部長)
宮腰 大司	(有限会社HAIR GUEST 代表取締役)
平山 浩篤	(株式会社シェイプアップハウス 取締役) (学校法人ミスパリ学園評議員)
杉原 昭二	(学校法人ミスパリ学園理事、評議員)
須賀谷 映子	(NPO法人スパ・ウェルネス協会 教育委員長) (学校法人ミスパリ学園評議員)
越川 治枝	(株式会社シェイプアップハウス 教育部 課長)

事務局

島田 薫	(ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 校長)
浅賀 寿美	(ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 副校長)
勝野 美佐	(ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 教育課 主任)

陪 席

東 千晶	(株式会社シェイプアップハウス 人事部 部長)
大石 将人	(株式会社ミス・パリ お客様相談室 室長)
中澤 健太郎	(ミス・パリ・ビューティ専門学校 教育課 課長)
加納 倫一	(ミス・パリ・ビューティ専門学校 教育家 課長)

4. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

①学生アンケートにおける改善点

【現状】

大宮校では、在校生に対し、年に2回（前期・後期）授業アンケートを実施。アンケート内容の分析を行い、授業内容や教員指導等について学生の満足度向上を図るため、分析データを基に課題の明確化と改善に務めている。

2020年度におけるアンケートの実施方法・分析結果は以下の通り。

〔実施方法〕全在校生対象。無記名式。10項目3段階評価及び自由記載のコメントを求める。

〔実施時期〕前期：2020年9月30日、後期：2021年3月5日

〔分析結果〕前期アンケートの学生コメントより、講師間の熱意に差を感じるとの指摘があった。

当該講師に注意を促すとともに、全講師にも注意喚起を行った。これにより、後期アンケートでは、学生満足度が約2～3%上昇し、全体満足度を90%以上とすることができた。

2021年度は、年度初めに外部講師も含めた講師研修及び面談を実施することにより、指導方針の共有化を図り、講師間の指導における差異を無くすように努めている。

②自己評価点の理由

【現状】

2020年度自己評価は昨年度からほぼ変わらず、概ね良好に学校運営がなされていると評価する。ただし、数年間評価点が上がらない項目があり、この項目に関する改善が課題となっている。今回の学校関係者評価委員会にて、現状の課題と取組について説明を行い、改善のアドバイス等をいただいた。

(1) 教職員間コミュニケーションについて

学生数増加に伴い教職員も増えたが、学生対応等で全教職員が揃う機会が少なくなり、学校運営に関する協議の場の減少が懸念されていた。これについては、短時間で集まることのできる所属部署毎のミーティングを活用することで解消を目指す。

(2) 地域貢献について

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、地域社会活動への参加が困難となった。この状況は2021年度も続くと予想されることから、直接的な地域活動ではなく、本校独自で行える継続的な地域貢献の一環として、学校周辺の道路清掃を実施する。

(3) 学生数確保について

入学率・卒業率ともに前年より向上したが、目標値には達しなかった。見学者・入学者アンケートから入学希望者が本校に期待する事を分析し、それを強化することで、学生満足度を上げ、本校における魅力の向上を図ることにより、入学者数の増加及び中退者の防止につなげる。

③重点的に取り組む施策

授業アンケートによる学生満足度の向上を重点的な目標として設定する。また入学時、新入生対象に実施した入学者アンケートの分析により、本校の魅力を「綺麗・上品・優しい・マナー」と感じていることが分かった。これらは、教育内容として学生が期待している内容と考えられるため、2021年度の施策としてマナー教育の強化を図ることとした。また、校内でマナー向上委員会を設置し、身

だしなみや所作の美しさ、丁寧な言葉遣い等毎月テーマを決め、学生・教職員共にマナー向上を目指し、より質の高い学生指導を実現し、卒業・進級率及び、入学者数の向上に努めていく。

評価委員より

・授業アンケートのコメントにあった講師間の熱意の差については、多数の講師がいることから、今後も起こりえる事案と想定して、教育理念や教育方針の共有と意識統一を外部講師も含め徹底していただきたい。特に現役のサロンスタッフが授業を行う実習授業においては担当指導者が学生指導に不慣れであることを学校側も理解し、共同で対策を講じる必要性があると思われる。

・教育課程編成委員会で大宮校美容学科の授業を見学したが、技術レベルの高い授業が行われていると感じた。現場では自分の目標や信念を持っているスタッフが活躍している。そのため美容専門学校は美容のプロフェッショナルになる為の通過点であり、技術力を高めるのみならず、学生に卒業後の目標や自分の信念を持たせ、目標達成能力を高めさせる教育を行っていただきたい。

5. 全体総括

今回の学校関係者評価委員会では、課題項目のより明確な抽出を重点に行った。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、当初想定していた授業計画や学校運営活動が制限される中、学生満足度を下げることなく、入学者数の増加や卒業率が向上したことは、評価委員からも評価いただいた。2021年度もこの新型コロナウイルス感染症の影響は続くことから、昨年の反省を生かした新たな学校運営の形を模索していきたい。今回、評価委員会の方々から頂戴した意見を真摯に受け止め、今まで以上に魅力的な授業を行い、入学してきた学生を社会で活躍できる人材に育てるという使命感を教職員全員が持ち、美のプロフェッショナル育成により一層努力していきたい。

以上